

事務事業名	いちごまつり支援事業			担当	産業部 農政課 園芸畜産係			
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名	V-6 各種地域資源をつないだ「真岡ブランド」づくり		
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H18 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費	4. 園芸特産費				
事業概要	いちごまつりは、「いちご生産量日本一」という地域資源を生かし、知名度アップと地域活性化を図るために、農業、商工業者が一体となって、平成18年度から開催しております。 事業主体 いちごまつり実行委員会 会場 二宮コミュニティセンター（平成28年度） 内容 いちご狩り 1500名募集 参加費 大人1,500円（中学生以上） 小人500円（小学生以下から1歳） 乳幼児無料（1歳未満） 各種模擬店及び交流イベント							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 ・補助金交付事務及びいちごまつり実行委員会事務局 30年度計画 ・補助金交付事務及びいちごまつり実行委員会事務局		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,854
		イ 実行委員会予算額	千円	2,940	3,270	3,471	3,567	4,442
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・いちご狩り申込者及びハウス提供農家		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア いちご狩り申し込み人数	人	4,749	4,579	3,237	4,506	2,861
		イ いちご狩りハウス提供農家数	人	18	18	21	23	21
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・いちごまつりの開催による知名度アップ		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア いちごまつり参加人数	人	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・「いちご生産量日本一」の真岡市のPR及びいちご販売額の増加		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,990,649	3,000,000
		イ いちご栽培面積	ha	153.4	148.1	146.3	144.1	144.1
		ウ いちご販売高	億円	71.0	73.4	76.9	80.3	80.3
		エ いちご生産量	t	6,996	6,865	7,047	7,111	7,111
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,854	
	事業費計(A)	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,854	
	人件費	正規職員従事人数	人	55	55	55	55	77
		延べ業務時間	時間	1,800	1,800	1,800	1,800	2,000
		人件費計(B)	千円	7,598	7,542	7,475	7,470	8,300
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,598	8,542	8,475	8,470	10,154	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	「いちご生産量日本一」という誇れる地域資源を生かし、知名度アップと地域活性化を図るために、農業、商工業者が一体となって、平成18年度に旧二宮町で「いちごまつり」を開催した。平成21年3月に合併後も継続して開催している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成18年度に「県の誇れる町づくり事業」の補助金を導入して開催した。平成22年度から会場を二宮運動場から二宮コミュニティセンターに移動し開催している。各種イベントや模擬店に多数の来場者があり盛大に開催している。 平成27年度は、消費税増税に伴う委託料等の値上げもあり、運営費の面から、いちご狩り料金の値上げを実施した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・いちご生産者から、いちご狩りをするまでの間、うどん粉病やダニ対策等のハウス管理をすることが難しい。という意見が寄せられている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある いちごまつりの開催は、県内外から多くの来場者があり、知名度アップ及び地域の活性化が図られ、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある いちごまつりの開催は、県内外から多くの来場者があり、知名度アップ及び地域の活性化を図るには重要な事業であり、公共関与をすることは、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 県内外から多くの来場者があり、知名度アップ及び地域の活性化を図るためには適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある いちご狩りに対する応募者は、募集人員を大きく上回りPR効果があるので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない いちごまつり支援事業を廃止することは、いちごまつり開催に支障をきたすので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の補助であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で協賛金やいちご狩り参加料も徴収しており、公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							